

2 . 調 査 報 告 書

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの理念で示しているとおり、地域の一員として地域の中に溶け込めるホーム、及び入居者が安心して暮らしていけるホームづくりに職員全員が一体となって取り組んでいることが確認できた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員が常に理念を念頭に置いてケアに取り組めるよう、日頃から管理者が職員に理念を確認できる機会を設け、実践に活かしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	グループホームが地域密着できるよう、地域との交流が盛んであることは評価に値する。管理者が積極的に地域の中に溶け込めるよう地域の役割を果たしている（例：子ども110番に登録、青少年を見守る家に登録、地域パトロールに協力など）ことなどが、その一因と考えられる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回は初めての評価となるが、どのようなホームにしたいのかを職員がよく理解できており、自己評価については実態をありのままに評価している。外部評価についても、今後のサービス向上につなげたいという高い意識が感じられた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、町内会副会長、福祉部長、民生委員、包括支援センター、入居者ご家族などがメンバーであり、ホームについて理解してもらい機会として活用し、地域からの要望などについても聞き入れるなど率直な意見交換が行われている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>担当者と近隣ホームとが連携を取り、互いの情報交換を行い、ホームのサービスの向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>金銭報告は、領収書を添付し、定期的に報告を行なっている。また、ホームでの生活や行事などの様子については、写真を加工するなど、家族も楽しめるよう工夫されている。家族はホームページからもIDを入力すれば、写真などを見ることができる。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の来訪時に意見、要望を聞き出ししたりしているが、他の方法として、苦情受付窓口を重要事項説明書や玄関に明示している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の定着を図るために、正職員での採用を基本としている。また資質向上を促すために資格手当の支給など待遇面は職員を考慮したものとなっている。異動、退職の際には、入居者との関係が途切れないよう、前もって知らせたり、行き来するなどの配慮がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員育成に力を入れていることは大変評価できる。採用時には、業務を一通り身に付くまで、OJTを基本とした研修を行なっている。また、月1回の勉強会（自由参加）の開催、提携病院の研修、あるいは管理者が参加した外部研修については職員にフィードバックの機会を設けている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣他ホームと交流の機会を設け、互いの情報交換を行いながらサービス向上に務めている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族が宿泊できるスペースが用意されており、入居間もない入居者がホームになじめない場合でも家族と一緒に過ごせることも可能となっている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、入居者と共に生活しているという意識を持ち、互いの信頼関係が構築されている。職員は、必要に応じて入居者をサポートしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時に本人、ご家族から生活歴、習慣や要望を聞き入れ、ホームでの生活に活かしている。入居後は、本人との会話などを通じて、要望などを聞き出している。</p>		<p>会話などから本人より得られるサービス向上につながる情報や、気づいた点などは、さらに記録に残しサービス向上に繋げていただくことを望む。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画については、本人、ご家族の意向を反映し策定されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ケアサービスの提供において、職員が介護計画を意識して行うことができるよう、介護計画の実践状況については、介護記録において、アンダーラインを引き、状況が確認しやすくするなどの工夫を行なっている。この記録は、介護計画の見直しにも活かされている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>共有スペースを活用し、ボランティアがハワイアンダンス、日本舞踊を披露したり、園児が来訪し、入居者と交流するなど日常生活に変化をもたらすよう工夫されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>提携医療機関が訪問診療を実施している。ホームには、非常勤看護師も在籍しており、入居者の健康状態の把握と必要に応じた適切な医療支援ができています。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期ケアについては、方針を十分に説明した上で、本人の意思、家族の意向を組み入れ対応している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は、入居者のプライバシーを損ねないような声かけ、ケアがよくできている。個人情報に関する書類は保管場所を定め、保管されている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ホームでの生活は入居者を第一に考え、入居者のペースを守りながら、職員は必要に応じて支援を行なっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は入居者、職員がテーブルを囲み、楽しい時間を共有している。食べこぼしなどは、職員が気づいてすぐにサポートを行なっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	できるだけ、入居者が希望する時間に入浴できるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の希望、体調などを考慮し、外出、園芸、ホーム内での趣味活動などホームでの生活を楽しめる時間を出来るだけ作るよう努力している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出は、出来るだけ時間を割いて、近所の公園や開拓の村へ出かけたり、たまに外食にも出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵を掛けていないが、外出センサーを設置しており、一人で外に出る入居者がいた場合にも職員がすぐに対応できる。また、職員は入居者の様子から外出しそうな雰囲気を知り、すぐに対応も取れている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防災訓練は年2回開催するよう定められているが、19年度は秋に1回実施予定である。</p>		<p>定期防災訓練の他、日常的にあらゆる緊急場面を想定し、適切な対応が取れるか、確認を行っていただくことを望む。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>管理栄養士により献立が作られており、栄養バランスは十分取れている。また、入居者の状態に応じた個別の対応も取れている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間は家庭的な生活空間となっており、それぞれの入居者がゆったり過ごせるスペースが確保されている。気になるような匂い、音、光などは感じられなかった。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅での生活がホームでも継続できるよう、それまで使い慣れた家具などを持ち込んでもらっている。</p>		

 は、重点項目。